

産学連携コーディネート 優良事例

【NPO法人 グリーンテクノバンク支援】

◆画期的良食味でルチン高含有のダツタンソバ品種・食品開発による 地域フロンティア産業創出（2010～2011年度）

共同研究機関：(独)農研機構・北海道農業研究センター(中核機関)、(国)北海道大学大学院 農学研究院、(有)小林食品、東洋水産(株)、(NPO)グリーンテクノバンク

研究概要：ダツタンソバは、担い手不足で離農が進む厳寒地域でも生育可能な超省力栽培作物であり耕作放棄地対策に有望である。しかし従来品種は機能性物質ルチンが食品加工時にほぼ完全に分解し、食品が強烈に苦くなるため需要拡大の大きなネックとっていた。そこで、ルチンが分解せず苦味が生じない世界初の品種を育成し、それを用地元農商工連携による高度加工食品の開発を通じ地域フロンティア産業を創出し地域経済活性化に貢献する。

麺のルチンも多い！



苦くない



- **新品種育成**
- **栽培技術の開発**
- **おいしさを生かした食品の開発**

課題提案者の感想： **産学官連携コーディネーターの支援に対して**



(独)農研機構
鈴木主任研究員

当初は異業種の連携の方法や応募内容のアピールの仕方について苦労しておりました。

しかし、コーディネーターさんに相談をさせて頂いた結果、課題の設定の仕方、行政施策との関連性の整理等について具体的な意見をいただくとともに、現場のやる気を最大限に生かす提案の仕方等について有用なアドバイスを頂きました。

そのことが特に二次試験(ヒアリング)での大きな自信になったと考えています。